

栃の葉国体のリハーサル 全日本登山体育大会終わる

来年の栃の葉国体のリハーサル大会ともいえる「第二十回全日本登山体育大会」が、四月十九日から四日間、日光連山を舞台に開かれました。この大会には、二十七都道府県の選手・役員約五百人が参加、まさにミニ国体

的大会でした。今回は競技より技術向上が目的でしたが、式典やパレードには、日光中フラスバンド、日光小鼓笛隊、日高生が活躍、式典、輸送、宿泊、広報など、来年の国体をひかえてよい経験ができた大会でした。

開会式は、四月十九日午後二時半から総合会館で開かれ、大会のシンボルであるピッケルが、昨年の開催地宮城県から渡辺栃木県山岳連盟会長に手渡されました。

国体から山岳が正式種目になり、今大会はそのリハーサルとして意義深い大会……とあいさつ。星野市長、金子市議会議長が歓迎のあいさつをしました。

連山で四コースに分かれて実施、あいにくの天候にもめげず、無事に終了し、二十一日夜は、中宮祠で「山岳祭」を盛大に開きました。閉会式は、二十二日、市役所からのパレードの後、総合会館で開

き松永技術委員長が「危険はさけよ、困難には立ち向え……」と講評、大会を無事に終わりました。



日光祭事記 ⑤

四月一日

開山会

四月一日は、勝道上人の命日。山内の滝尾参道起点にある開山堂で、おごそかな開山会法要が行なわれる。開山堂付近は、上人が茶毘にふされたところ。堂の裏にある上人の墓にも参列者が詣でる。その後、東照宮社務所わきにある上人の後継者で日光山最初の座主、教曇大僧都の墓にも一同で参拝する。

光化学スモッグ

予報が

発令されたら

昭和五十三年度の光化学スモッグ予報は、栃木県内で十三回、注意報が五回でした。被害を受けた方は十六人。発令の最も多い月は五月から七月までの三か月です。もし、日光で光化学スモッグが発令されたら、次のことに注意してください。

- ◎目やのどに刺激を感じた場合は、ただちに洗眼とうがいを行い、保健所か市役所に連絡しましょう。
- ◎病弱な人は、外出を避けましょう。また、一般の人もなるべく屋外に出ないようにしましょう。
- ◎車の運転は、できるだけ控えましょう。